No. 273

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 人間科学部 英語攻略チートシート

60分40問、1問90秒。読まずに解ける前置詞・副詞10問と正誤10問を15分で片付け、残り45分を科学ニュース6本に注ぐ。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 解く順はⅡ→Ⅲ→Ⅰ。知識20問を先に15分で
2. 正誤はEが約2割。4点を見て無ければ迷わずNO ERROR
3. 前置詞はNO WORDあり・同じ語の再使用あり。消去法は効かない

◆ 形式マップ（2022〜2026年度）

2025年度から国英型・数英型（共テ併用）。英語は独自50点・60分。共テに英語は含まれない。

年度	Ⅰ 読解	Ⅱ 空所補充	Ⅲ 正誤判定	合計
2022〜2024	25問（英文8本）	15問	10問	50問・90分
2025・2026	20問（英文6本）	10問	10問	40問・60分

◆ 3セクションの中身

大学は改革時に「設問数は減るが問題構成や出題の意図は変わらない」と公表している（記事による）。

セクション	形式	要点
Ⅰ 短文読解	1本約300語（183〜426語）を6本	(ⅰ)と(ⅱ)が4問、以降3問（2025・2026年度）。科学ニュースが中心
Ⅱ 空所補充	前置詞・副詞11個＋(L) NO WORD	使わない語あり・同じ語を何度でも可。2026年度から「文頭なら大文字とみなす」の一文が加わった
Ⅲ 正誤判定	下線A〜D＋(E) NO ERROR	5年とも10問で据え置き。40問中25%に比重が上がった

◆ セクションごとの攻略法 5

☐ **1 Ⅰ：1本6分の型**

最初の30秒で設問の「問い方」だけ見る→戻り読みせず通読、数字とbut / however の直後に印→設問。1本に8分以上かけない。6本中1本は捨ててよい。

☐ **2 Ⅰ：科学ニュースの型**

発見→従来の常識との対比→数値→意義、の順が多い。逆接の直後に「意外な発見」＝主題が来る。

☐ **3 Ⅱ：直前の動詞を見る**

他動詞（discuss / mention / enter など）なら NO WORD を疑う。慣用句なら即決。NO WORD は5年65問中7問（約11%）で、0問の年もある。

☐ **4 Ⅱ：前置詞は上位10語**

5年で選択肢に出たのは21種類だけ。for・on は毎年、about・into・to・in が4年。動詞句を前置詞から引く形で覚える（『人科の前置詞60』）。

☐ **5 Ⅲ：4点チェック→E**

①可算・不可算と単複 ②主語と動詞の一致 ③前置詞と語法 ④時制・仮定法・態。どのルール違反か言えないなら選ばない。有効49問中11問（22.4%）がE。

◆ 正誤判定の4点チェック 6

記事が挙げた狙いどころ。例文はオリジナル。

☐ ✕ ~~She gave me many advices.~~
○ She gave me a lot of advice.
advice・information・furniture・equipment は不可算

☐ ✕ ~~Every student and teacher are invited.~~
○ Every student and teacher is invited.
every は and でつないでも単数扱い

☐ ✕ ~~It is no point in arguing.~~
○ There is no point in arguing.
基本形は There is no point in -ing。It is は不可

☐ ✕ ~~The number of tourists are rising.~~
○ The number of tourists is rising.
主語は number。a number of＋複数は複数扱い

☐ ✕ ~~If I have wings, I would fly.~~
○ If I had wings, I would fly.
仮定法過去は if 節も過去形

☐ ✕ ~~We need more woods for the fire.~~
○ We need more wood for the fire.
木材の wood は不可算。woods は「森」

◆ NO WORDか前置詞か：意味が変わる動詞 5

前置詞をつけない他動詞の基本は『人科の前置詞60』に。ここでは前置詞の有無で意味が変わるものを。

☐ **attend the meeting** 会議に出席する
出席なら NO WORD、世話・対処なら to
vs **attend to the customer** 客に応対する・対処する

☐ **search the room** 部屋（の中）を捜索する
目的語は「探す場所」か、for＋「探す物」か
vs **search for the key** 鍵を探す

☐ **enter the market** 市場に参入する
場所に入るなら NO WORD
vs **enter into an agreement** 契約を結ぶ

☐ **reach the shelf** 棚に届く
到達は NO WORD、動作の向きは for
vs **reach for the salt** 塩に手を伸ばす

☐ **answer the question** 質問に答える
答えるなら NO WORD
vs **answer to the board** 取締役会に対して責任を負う

◆ 科学ニュースの頻出フレーズ 6

セクションⅠは一般向けの科学記事が主体。合図の表現で主題と根拠を見分ける。例文はオリジナル。

☐ **A new study suggests that 〜** ★★★ … 新しい研究によると〜らしい
suggest は断定より弱い。選択肢の prove は言い過ぎを疑う

☐ **Researchers have found that 〜** ★★★ … 研究者らは〜を発見した
記事の主題の合図

☐ **Contrary to popular belief, ～** ★★★ … 一般に信じられているのとは逆に
常識の否定＝主題。直後が答えになりやすい
Contrary to popular belief, bats are not blind.
一般の思い込みとは逆に、コウモリは目が見えないわけではない。

☐ **be linked to ～** ★★★ … ～と関連がある
相関であって因果ではない。cause とすり替えた選択肢に注意

☐ **account for ～** ★★☆ … ～を占める／説明する
account for 30% of … ＝30%を占める

☐ **It remains unclear whether ～** ★★☆ … ～かどうかはまだわかっていない
未解決の点。「証明された」とする選択肢は×

◆ 60分の時間配分（後ろから解く）

時間	セクション	ポイント
0～7分	Ⅱ 前置詞10問	1問40秒。10問中2問までは捨ててよい
7～15分	Ⅲ 正誤10問	1問45秒。見つからなければE
15～55分	Ⅰ 英文6本 20問	1本6～7分。(i)は少し丁寧に
55～60分	見直し	空欄ゼロに。NO WORD を選んだ所を1度だけ見直す

◆ 2027年度に向けての注意（記事の予想） 5

☐ **1 予想：3セクションは不変**
5年間不変で、大学も構成は変わらないと明言。40問（20＋10＋10）の定着も高確率と記事は予想。

☐ **2 予想：正誤の比重は上昇したまま**
10問据え置きで40問中25%。NO ERROR 率も2割前後で推移すると予想。

☐ **3 予想：文頭の空所に注意**
2026年度に「文頭なら大文字とみなす」の一文が追加された。文頭に前置詞が来る出題（In spite of… など）に備える。

☐ **4 予想：テーマ**
脳科学・健康・生物・環境・テクノロジーが軸で、言語や文化が混ざる。週3回、250～350語の英語の科学ニュースを読む。

☐ **5 過去問の使い方・要確認**
2024年度以前は英文6本＋Ⅱ10問＋Ⅲ10問に間引いて60分で。2026年度Ⅲ設問36は大学の解答で特別な扱いがある。**最新の入試要項と訂正情報**を確認。

◆ 確認テスト

1 We discussed ＿＿ the schedule for an hour.
a about　b over　c on　d NO WORD

2 When it comes ＿＿ cooking, nobody beats my father.
a with　b to　c for　d on

3 Which is correct?
a It is no point in waiting.　b It has no point in waiting.
c There is no point in waiting.　d There is no point to waiting.

4 Each of the players ＿＿ a different role.
a has　b are having　c having　d have

5 Eating breakfast is ＿＿ to better grades, but that does not prove it causes them.
a linked　b caused　c proved　d forced

6 正誤判定で4点を確認しても誤りが見つからない。選ぶべきは＿＿。
a E（NO ERROR）　b A　c いちばん長い下線　d 最後の下線

◆ 解答

1 NO WORD discuss は他動詞
2 to when it comes to＋名詞・動名詞
3 There is no point in waiting. there is no point in -ing
4 has each of＋複数名詞は単数扱い
5 linked be linked to＝関連がある（相関）
6 E（NO ERROR） 5年で約2割がE

参考資料 原田英語｜早稲田大学人間科学部英語徹底研究 過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想（3セクション・前置詞65問・正誤判定50問）／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）